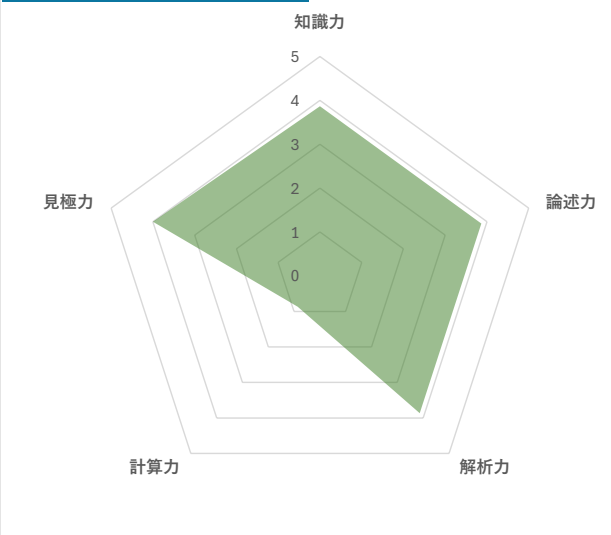


総合分析

試験区分 一般 (後期)

制限時間 75分 (理科 2科150分) 大問数 全 3 問

合格に要する能力 (5段階)

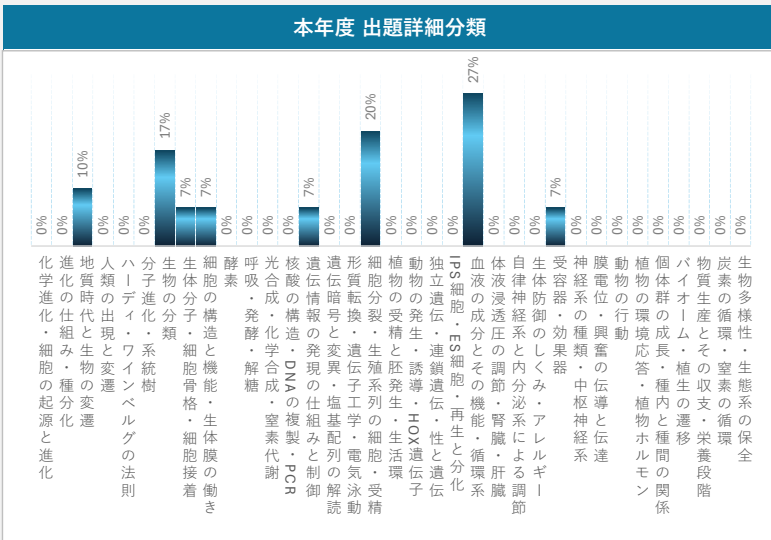


合格に要する能力 (5段階)		
知識力	3.7	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	3.7	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	3.7	図表データなどから分析・解析する力
計算力	0.7	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	3.8	難度を判断し、適切に時間配分する力

出題分野	
系統と進化	27%
生命現象と物質	13%
遺伝子	7%
生殖と発生	20%
生物の環境応答	33%
生態	0%

本年度 解答形式  
 論述 100%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	細胞分裂, 染色体の対合
第2問	心臓の構造と機能, 胎児の血液循環
第3問	動物の分類, 節足動物の陸上進出



特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項 特になし

総合評価

難度	3.2	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	62%
分量	70分	完答に要する時間 (制限時間は75分)	標準	標準	

入試の特徴と対策 ▶ 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。

入試から見る大学が求める学生像 大問1の難度が高く、ここで必要以上に時間を取られると大きな失点につながってしまう。最初に全体を俯瞰して時間のマネジメントを意識しておく必要がある。また字数制限が曖昧な論述問題が多く出題されるため、じしんの論述で題意を満たしているのか、説明の整合性を見極める力も求められるだろう。